



▲メダルと賞状を手に喜びの表情を見せる福士さん

空手世界2位の喜びを報告

第6回世界ジュニア&カデット空手道選手権大会出場報告

12月4日(金)、モロッコで11月11日～15日に行われた『第6回世界ジュニア&カデット空手道選手権大会』に日本代表として出場し、準優勝に輝いた福士百合子さん(緑陽中学校3年)が市長を訪問しました。

大会には世界90カ国から1千300人が出場し、福士さんが出場した『カデット(14～15歳)女子個人「形」の部』には約40人がエントリー。初めての海外遠征の緊張や食事が合わないなどの問題を抱えながらもその重圧をはね退け順調に勝ち上がり、決勝ではエジプトの選手に惜しくも敗れましたが堂々の世界2位となりました。

福士さんは「準優勝は悔しいが、毎日の走りこみや練習の成果が十分に発揮できて良かったです。この結果が後輩の刺激になってくれるとうれしい」と話し、また「高校では国体で優勝を目指したい」と今後の抱負を語りました。

手作りツリーでクリスマス

クリスマスツリーづくり

12月5日(土)、図書館でクリスマスツリーづくり(市主催)が開催されました。この催しは、12月の図書館行事の一環で、幼児や小学生を対象に毎年開催しており、この日は21人が参加しました。

参加者は、厚紙やリボンなどの絵柄が印刷された紙を切り抜き、親子や友達と話しながら、一つ一つ組み立てを進め、最後に色紙を切り抜いた装飾品やモールを飾りつけてツリーが完成。参加した子どもは「はさみを使い難いところもあったけど、お母さんと一緒に作ったのが楽しかった」と、真剣に取り組んだ様子を話してくれました。

作品は自宅に持ち帰り、小さくも、夢いっぱいの手作りクリスマスツリーで家族全員楽しいクリスマスを迎えることとなりました。



▲クリスマスツリーづくりに取り組む親子

登別の「いいモノ」を発掘

登別ブランド推進協議会発足



11月25日(水)、登別商工会議所で、第1回登別ブランド推進協議会(市主催)が開催されました。この協議会は、今年度の特別予算枠に設けられた『明日のまちづくり事業』の一つ『いいモノ発見』の「のぼりべつ」を推進するため、登別ブランド推奨制度の確立や市内の既存資源・商品・製品の発掘、商品の宣伝や販売促進・販路開拓の支援などを行うものです。

協議会は市、登別商工会議所、登別観光協会、日本工学院北海道専門学校、登別市食生活改善推進員協議会、各地区のまちづくり団体から選出された委員で構成され、この日は、市長が委員に委嘱状を交付し「基幹産業である観光振興の一助とするためブランドの育成にお力添えいただきたい」とあいさつ。その後、会長などの選出やスケジュール、推奨基準などについて協議を行いました。

2月には推奨品の募集を始め、3月に審査会を経て登別ブランド推奨品が誕生する予定です。